

市政記者各位

令和3年11月12日
市民局防犯・交通安全課

『防犯カメラを活用した悪質・迷惑な客引き対策』実証実験開始

福岡市では、繁華街対策の一環として、悪質・迷惑な客引き行為等を許さない環境の構築に取り組んでおります。

この度、公民連携ワンストップ窓口『mirai@』（ミライット）において募集した、『防犯カメラを活用した悪質・迷惑な客引き対策』の実証実験を開始いたしますのでお知らせします。

記

1 実証実験の概要

撮影範囲の人数をカウントするAI（人工知能）機能を搭載した防犯カメラとスピーカーを連動させ、一定以上の人数を検知した場合に悪質・迷惑な客引きや来街者へ注意喚起の放送を行います。

2 実証実験場所・期間

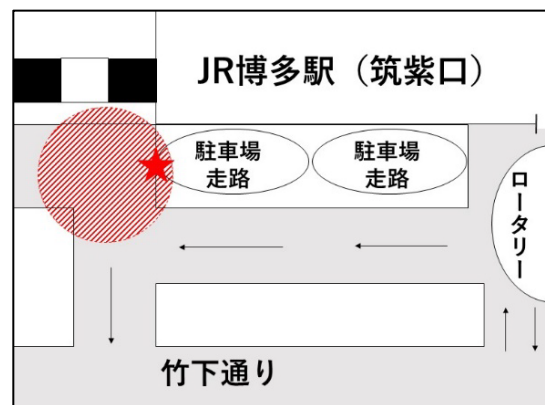
カメラ設置場所：博多駅筑紫口（博多駅4階駐車場南側壁面）

実施期間：令和3年11月19日（金）13時～令和4年2月28日（月）

カメラ・スピーカー



★カメラ設置場所 ●撮影範囲



3 共働事業者

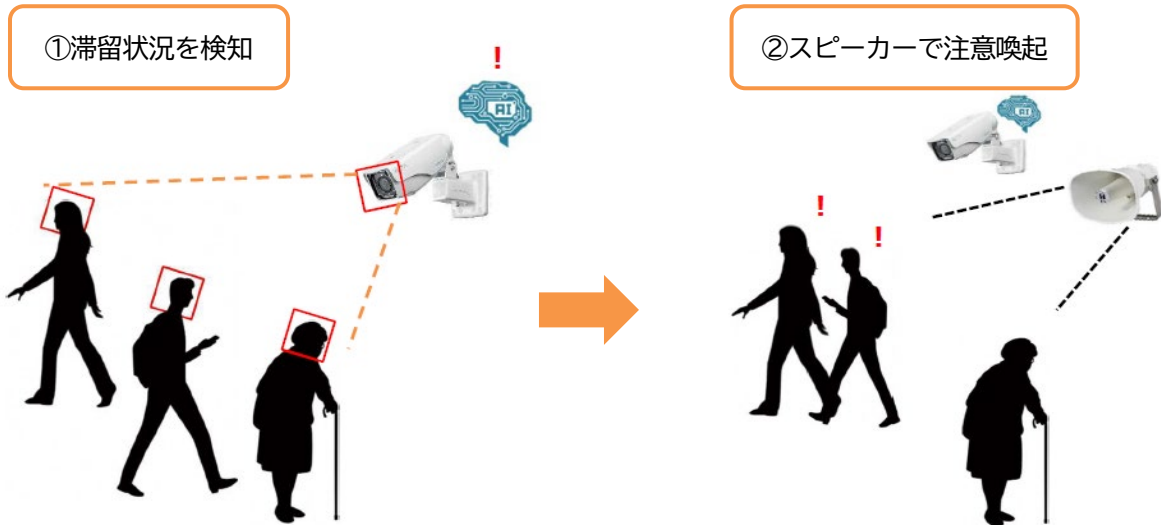
TOA株式会社

（本社：神戸市中央区港島中町7-2-1 代表：代表取締役社長 竹内一弘）

4 実証実験の詳細

本実証実験では、客引きが多く集まる場所にA I の学習済みモデルを実装したカメラを設置し、人混み状況を検知します。撮影範囲内において、事前に設定した人数以上をカウントすると、併設したスピーカーから事前に登録した音源コンテンツを再生し注意喚起を行います。注意喚起後の客引きや来街者の行動変容を分析し、悪質・迷惑な客引き対策としての有用性を検証します。

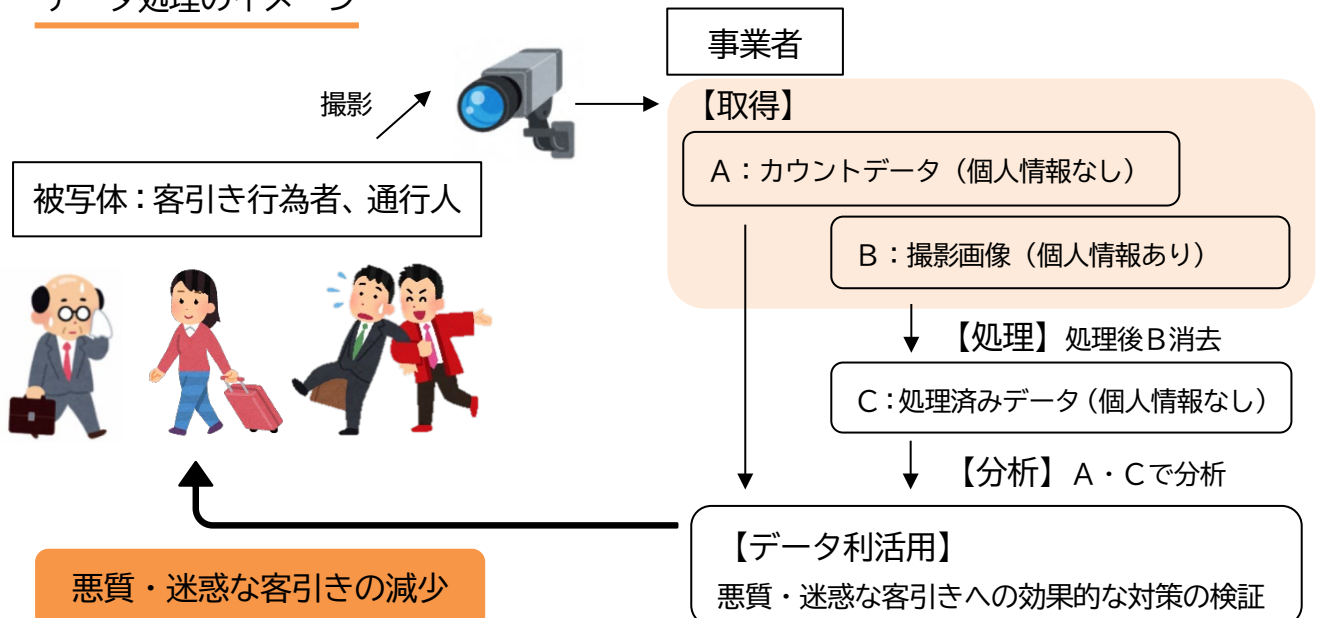
人数カウントの処理はカメラ内で行い、別途専用サーバーを必要としないため、顔など個人を特定する情報が漏れることはありません。



5 個人情報の取り扱い

本実証実験では、カメラ画像利活用ガイドブック（経産省・総務省）に基づいて、画像データ取得に関する事前告知（通知文の掲示、Webでの周知）を実施します。カメラ内でSDカードに記録された画像データは、モザイク処理した後に放送タイミングと行動変容の分析にのみ使用します。本実証実験で生成するカウントデータ、及びモザイク加工した画像データから個人を特定することはできません。

データ処理のイメージ





6 問い合わせ先

○実証実験の概要に関すること

市民局防犯・交通安全課

担当：小畑、松本 TEL：092-711-4060

参考URL

https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/seikatsuanzen/life/kyakuhiki_jikken.html

○実証実験の技術・データの取り扱いに関すること

TOA株式会社 九州沖縄営業部 福岡営業所

担当：「防犯カメラを活用した悪質・迷惑な客引き対策の実証実験担当」

TEL：092-431-0061